

## 中学生の職業体験を実施しました！

平成29年6月29日（木）に横浜市立原中学校の職業体験を受け入れました。当日は、作業着に着替えて除塵機（川から流れ込む草木などのゴミを取り除く機械）の操作体験や、臭気検査体験（川の水にかび臭などの匂いがしないか人間の鼻で検査します）、残塩計器の校正（計器の清掃点検後、数値のずれがないかチェックします）などの作業を体験してもらいました。

まずは社家取水管理事務所の管理室で給排風機の操作を体験しました。モニター越しの操作に不思議そうな顔をしていました。



次は沈砂池に移動して、除塵機の操作を体験しました。管理室でのモニター越しの操作と違い、実際にレバーをひねることで機械が動きます。機械を動かすときには、自分や周りの人が怪我をすることがないように、安全確認が大事ということを学んでもらいました。

次は、広域水質管理センターに移動して、臭気検査を体験しました。水道水、原水（川の水）、かび臭のする水、油臭のする水の匂いをかぎ分けます。油臭の水の強い匂いにみなさん思わず顔をしかめていました。





午後は、綾瀬浄水場に移動しました。残塩計器の数値に誤りがないか確認するために、計器の数値と実測値のクロスチェックを行います。

残塩の実測では、沈でん池から採水ポンプによって送られてきた水を採取します。

実験の前には実際にろ過池から管廊を歩いて採水ポンプからの流れを確認しました。



続いて残塩の実測に挑戦しました。容器を何度も洗ったり、計器の調整をしたり、一つ一つの作業を丁寧に行っていました。



最後に、実測した数値と計器の数値がずれていないかチェックします。今回の体験では数値のズレはありませんでした。



今回は、一日にわたって当企業団のいろいろな作業を体験してもらいました。まずはなによりも作業者が安全に作業をするということが大事と繰り返し伝えました。水道施設という大きな施設では、危険な作業も多くあります。作業者同士が互いに声をかけあい、安全に作業することが水を安定的に供給することにつながります。

将来、職業体験をしてくれた中学生たちが当企業団に興味を持ってもらえたらうれしいです。